# KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

# CORE-A55
# KAF-A55

## 取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の
「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド
JVCKENWOOD Corporation

© B60-5783-00/01 (JW)　　LVT2432-001B

# もくじ

## お使いになる前に



## 音楽を聞く



## 好みの音を作る



## もっと使いこなす

## メンテナンス



お使いになる前に

音楽を聞く

好みの音を作る

もっと使いこなす

メンテナンス

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

# ⚠警告

## 異常のときは

### 異常が起きた場合は AC アダプターを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜き電池を取り出す。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

## 電源コード・プラグについて

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

## 設置について

### AC アダプターの電源プラグは交流 100 ボルトに接続する

この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

### 風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

### 機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

### 機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

## 使用について

### 水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

### 雷が鳴り始めたら電源プラグや AC アダプターには触れない

感電の原因となります。

## お手入れ

### 電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

# ⚠注意

## 異常のときは

### 落としたら AC アダプターを抜く

AC アダプターや機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜き、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

## 電源コード・プラグについて

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

### AC アダプターを熱器具に近づけない

AC アダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。ケースやコードの被服が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

### 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

## 設置について

### 移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

## 設置について

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

### 湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

### 温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

### 機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

## 使用について

### 長期間使用しないときは AC アダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

### 機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

# 注意

## 使用について

### 機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

## 電池について

### 電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス”＋”とマイナス”－”の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## 電池について

### 電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

## 音量について

### はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

### 耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

### 長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

## お手入れ

### お手入れの際は電源プラグを抜く

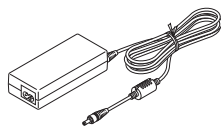
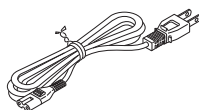
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

### 定期的に内部の点検、清掃をする

3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

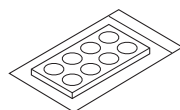
# 付属品について

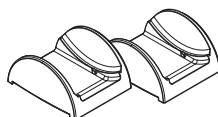
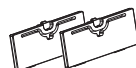
## 付属品

ACアダプター
（AC-120375A：1個 ）

電源コード
（1本）

リモコン
（RC-A0500：1個）

本体縦置き用スタンド
（1個）

スタンド固定ビス
（1本）

横置きセッティング用
クッション（8個）

スピーカーコード
（2m：2本）

スピーカースタンド
（2個）

スピーカー端子カバー
（2個）

**ステレオ音のエチケット**

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 設置するときは

## 本機を設置するときのご注意

- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

**⚠ 注意**

機器およびACアダプターを設置するときは、以下のことをお守りください。放熱が十分でないと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- 機器はあおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。

---

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

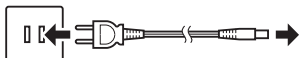
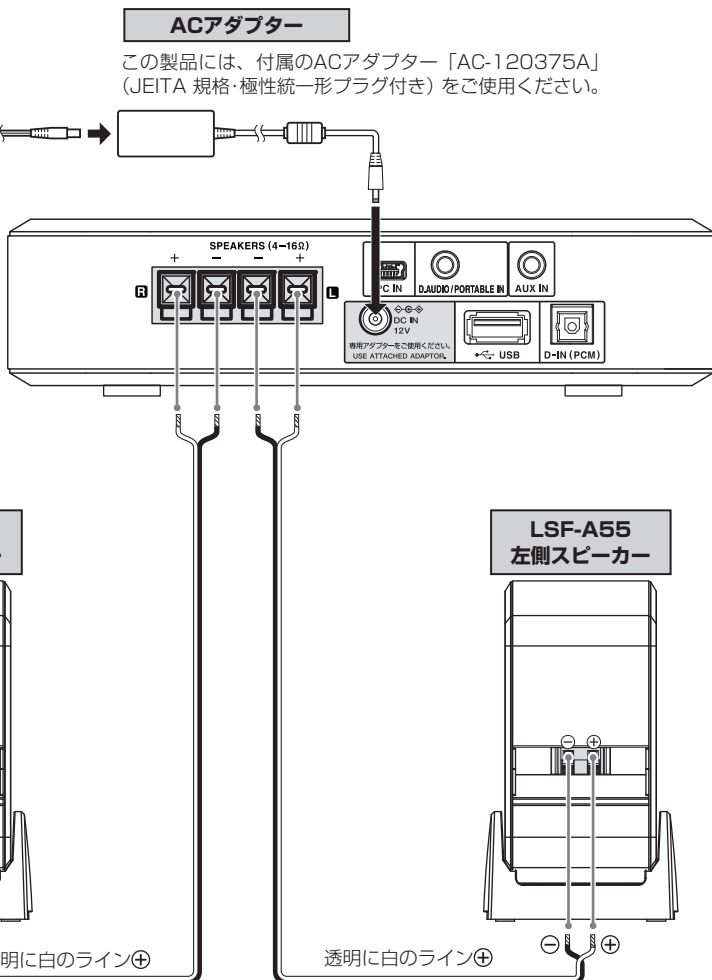
## 音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの配置によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために、下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。 左右のスピーカーを壁から離れたところに設置し、窓に厚手のカーテンなどを掛けて、できるだけ音の反響を少なくする。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置に傾けて（0〜20度）設置する。

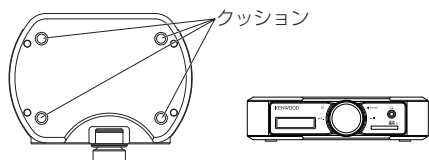
# 接続のしかた

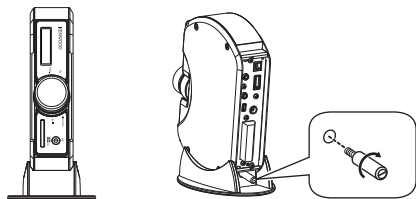
## 基本接続

| | |
|---|---|
| 接続上のご注意 | 接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
| 本機の誤作動について | 正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合は本機をリセットしてください。(43ページ) |

スピーカーは左右とも同じ物です。左右どちらにでも設置できます。

## 本体の設置について

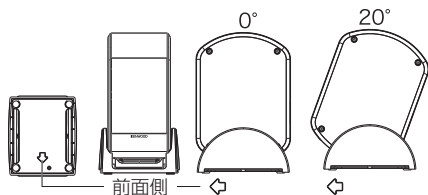
**・横置きクッションの使い方**

本体底面にクッションを4カ所貼ります。クッション側を底面にして設置します。貼る位置は図を参考にしてください。(クッションは8個付属しています。残りの4個は予備用として保管してください。)

**・縦置き本体スタンドの使い方**

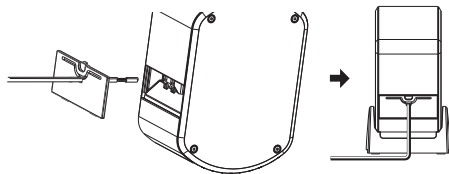
本体を縦置きする場合は、本体をSDカードスロット側を下にしてスタンドに置きます。スタンドの背面の下部にスタンド固定ビスで、スタンドと本体を固定します。

- 固定ビスを取り外すときに、固いときは市販のマイナスドライバで外してください。

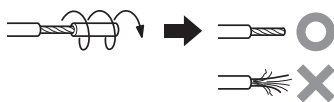
## スピーカーの設置について

**・スピーカースタンドの使い方**

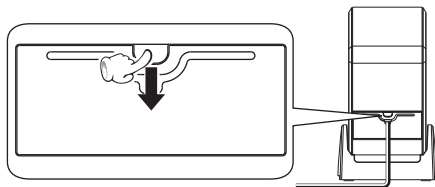
スピーカースタンド底面の、矢印の方向を前面にしてスピーカーをスタンドに取り付けます。垂直(0度)から20度までお好みの角度に調整できます。

## スピーカーの接続

**・スピーカー端子カバーの取り付け方**

スピーカーコードを接続する前に付属のスピーカー端子カバーの穴にコードを通しておきます。スピーカーコード接続後、カバーを取り付けます。

**・スピーカーコード先端の処理のしかた**

コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

**・スピーカーコードの取り付け方**

**・スピーカー端子カバーの取り外し方**

スピーカー端子カバーの穴を押し下げて、カバーを取り外します。

- スピーカーコードの+と−は絶対にショートさせないでください(+と−のコードを接触させないでください)。極性+と−を間違えて接続すると、楽器などの音源位置がはっきりしない不自然な音になります。

## 他の機器（市販品）との接続

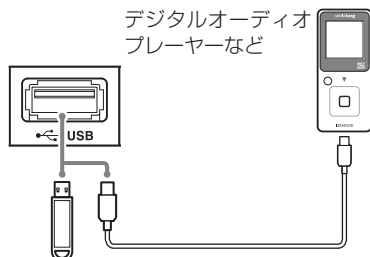
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続コードはすべて確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

**接続上のご注意**

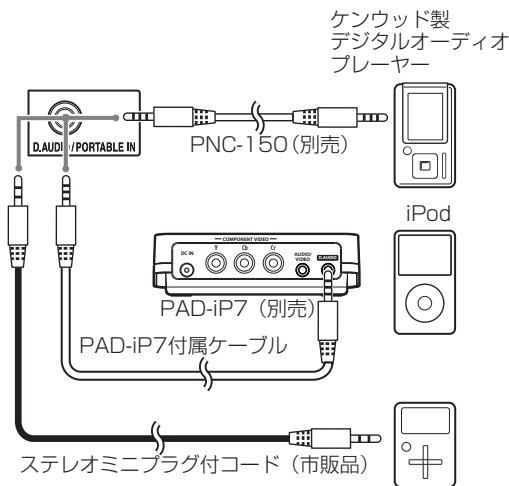
接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

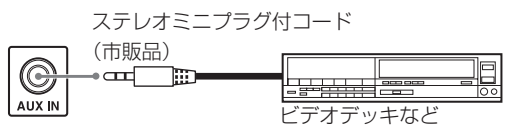
### USB

USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、本体背面部の**[•⇐ USB]**端子に接続します。

- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。

### D.AUDIO/PORTABLE IN入力

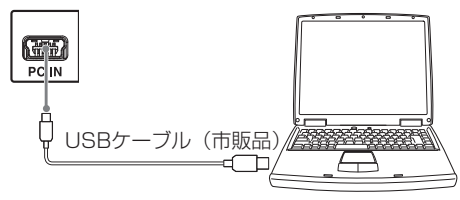
デジタルオーディオプレーヤーやiPodドック（PAD-iP7）を本体背面部の**[D.AUDIO/PORTABLE IN]**端子に接続します。

- D.AUDIO Controlを"ON"にして(34ページ) デジタルオーディオリンク対応プレーヤー（ケンウッド製）を専用ケーブルPNC-150（別売）で接続すると、本機やリモコンを使って操作できます。（24、38ページ）また、iPodは専用アダプター PAD-iP7（別売）で接続すると、iPodを操作できます。
- デジタルオーディオリンクに対応していないデジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、D.AUDIO Controlを"OFF"にしてください。(34ページ) このときは市販のステレオミニプラグケーブルを使って接続します。
- お使いにならないときは、ケーブルを本体から抜いてください。

## AUX IN入力

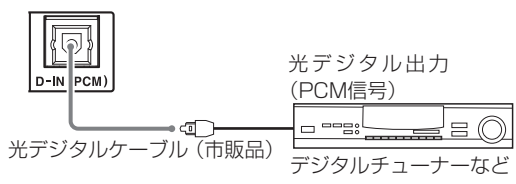
ビデオデッキなどの音声出力端子を本体背面部の**[AUX IN]**端子に接続します。市販のステレオミニプラグケーブルを使って接続します。

## PC IN入力

USB端子を搭載したWindows® Vista/XP搭載PC（パソコン）を**[PC IN]**端子に接続します。

市販のUSBケーブル(TypeA - Mini B)を使って接続します。

- 3m以下のUSBケーブルをご使用ください。

## D-IN(PCM)

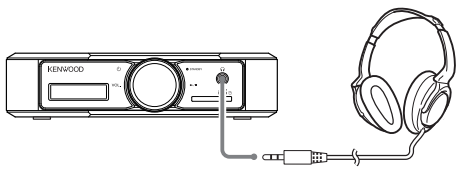
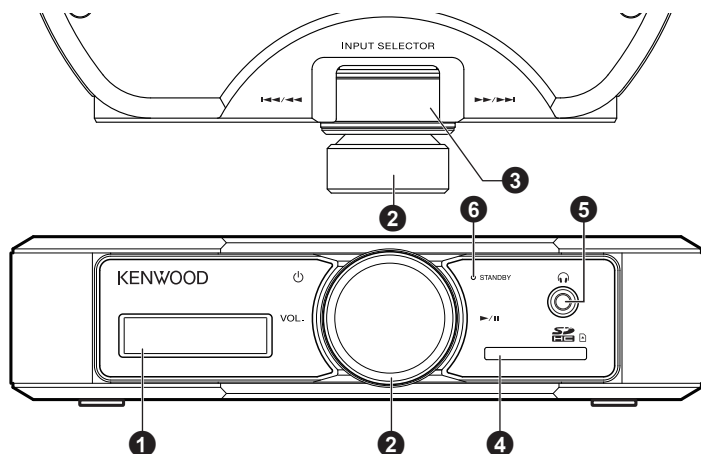
デジタルチューナーなどの光デジタル出力端子を本体背面部の**[D-IN(PCM)]**端子に接続します。

- 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

## PHONES

ステレオミニプラグつきのヘッドホンを本体前面部の**[PHONES]**端子に接続します。

ヘッドホンを接続するとスピーカーから出る音は消音され、ボリュームの調整範囲が0 ～ MAX（33）になります。

# 各部のなまえと働き

## 本体部

❶ **ディスプレイ部（15ページ）**

❷ **VOLUME（ボリューム）ノブ**

**電源⏻（19ページ）**

電源のON/OFF（スタンバイ）を切り換えます。

本機がスタンバイのとき、押すと電源がONします。

電源がONのとき、1秒以上押し続けると本機がスタンバイになります。

**VOLUME（18ページ）**

回して音量を調整します。

**►/II（19、20、22、24ページ）**

USB/SD/D.AUDIOのとき、押すと曲を再生します。イルミネーションが白から青になります。

もう一度押すと一時停止します。イルミネーションが青から白になります。

❸ **JOGノブ**

**INPUT SELECTOR（19、20、22、24、25、26ページ）**

イルミネーションが白色のとき、右または左に回して音源(ソース)を選択します。

**I◄◄/►►I（21、23、24ページ）**

USB/SD/D.AUDIOのとき、再生中に右または左に回して曲をスキップします。

**◄◄/►►（21、23、24ページ）**

USB/SD/D.AUDIOのとき、再生中に右または左に回し続けて曲を早送り早戻しします。

❹ **SDカードスロット（19、20ページ）**

SDカードを挿入します。

❺ **PHONES端子（13ページ）**

❻ **STANDBYインジケーター**

赤色：スタンバイ状態

消灯：電源ON状態

### イルミネーションについて

本機ではJOGノブ回りのイルミネーション色により本機のJOGノブの状態を表しています。

白色：JOGノブを回して音源（ソース）を切り替えられます。

青色：SD/USB/D.AUDIOのとき、I◄◄/►►I、◄◄/►►として動作します。

### スタンバイ状態について

本機の[STANDBY]インジケーターが点灯中は、マイコン動作ため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。この状態のとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

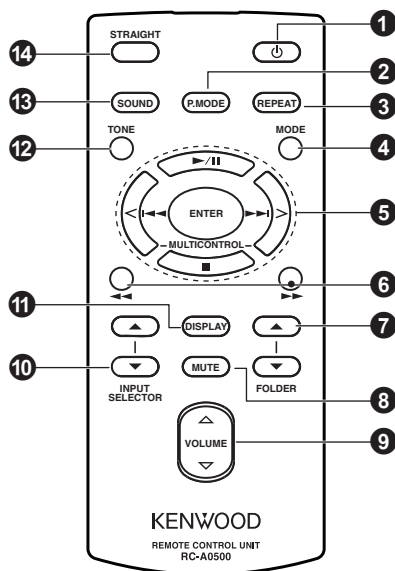
## ディスプレイ部

❶ 数字および文字情報を表示します。

❷ 本機のインプットセレクタやサウンドモードの状態などをアイコンで表示します。

- 曲（オーディオファイル）を再生中に点灯します。
- 曲（オーディオファイル）が一時停止中に点灯します。
- 消音中（ミューティング）に点灯します。
- SDカードを挿入しセレクタをSDにしたとき点灯します。
- USBオーディオ機器を接続しセレクタをUSBにしたとき点灯します。
- PC（パソコン）を接続しセレクタをPCにしたとき点灯します。
- 全曲リピート/フォルダリピートのとき点灯します。
- 1曲リピートのとき点灯します。
- 曲（オーディオファイル）を再生/一時停止すると点灯します。
- フォルダ再生モードを選択すると点灯します。
- Tone トーンを設定すると点灯します。
- Sound サウンドモードを設定すると点灯します。
- Straight ストレートが設定されると点灯します。

✓ ・本文中のディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合もあります。

## リモコン部

●本体部と同じ名前のボタンは、本体部と同じ働きをします。

❶ **電源⏻（19ページ）**
電源のON/OFF（スタンバイ）を切り換えます。

❷ **P.MODE（20、22ページ）**
再生モード（全曲再生モード、フォルダ再生モード）を切り換えます。

❸ **REPEAT（21、23ページ）**
曲を繰り返し再生します。

❹ **MODE（30～34ページ）**
本機の各種設定を行います。

❺ **►/❚❚（19、20、22、24ページ）**
曲を再生します。もう一度押すと一時停止します。
**■（21、23、24ページ）**
再生を停止します。
**MULTI CONTROL< / >（30～34ページ）**
項目を選択します。
**I◄◄/►►I（21、23, 24ページ）**
USB/SD/D.AUDIOのとき、再生中に曲をスキップします。
D.AUDIOのとき、再生中に押し続けると曲を早送り早戻しします。
**ENTER（30～34ページ）**
項目を決定します。

❻ **◄◄/►►（21、23、24ページ）**
USB/SDのとき、再生中に曲を早送り、早戻しします。

❼ **FOLDER▲/▼（20、22、24ページ）**
フォルダを選択します。

❽ **MUTE（18ページ）**
音を一時的に消音します。

❾ **VOLUME ▲/▼（18ページ）**
音量を調整します。▲を押すと音量が上がり、▼を押すと音量が下がります。

❿ **INPUT SELECTOR▲/▼（19、20、22、24、25、26ページ）**
音源を選択します。

⓫ **DISPLAY（21、23ページ）**
ディスプレイの表示内容を切り換えます。

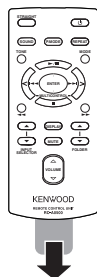
⓬ **TONE（28ページ）**
お好みに合わせて音質を設定できます。

⓭ **SOUND（28ページ）**
サウンドモードを設定をします。

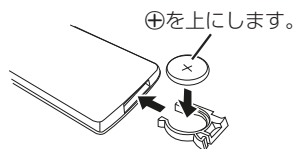
⓮ **STRAIGHT（29ページ）**
サウンド設定、トーン設定を解除し、音質の調整を行わず再生します。

# リモコンを準備する

## 絶縁シートを取り外す

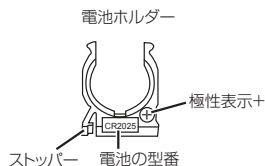
絶縁シートを矢印の方向に引き抜いてください。

## 電池を交換するときは

1. ストッパーを横に押しながら、電池ホルダーを引き出します。

2. 電池ホルダーにリチウムボタン電池を入れて、ホルダーを元に戻します。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池ホルダーを引き出すときに、つめを痛めないように注意してください。

## 電池について

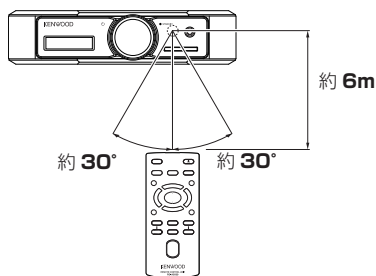
電池を交換する場合は、必ず指定の型番の電池をお使いください。

**使用電池：3Vリチウムボタン電池　CR2025**

### ⚠ 注意

リチウム電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、化学物質で皮膚をおかされることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。また、分解や充電、焼却を行ったり、100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には、指定の電池のみをご使用ください。異なる電池を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。

## 操作のしかた

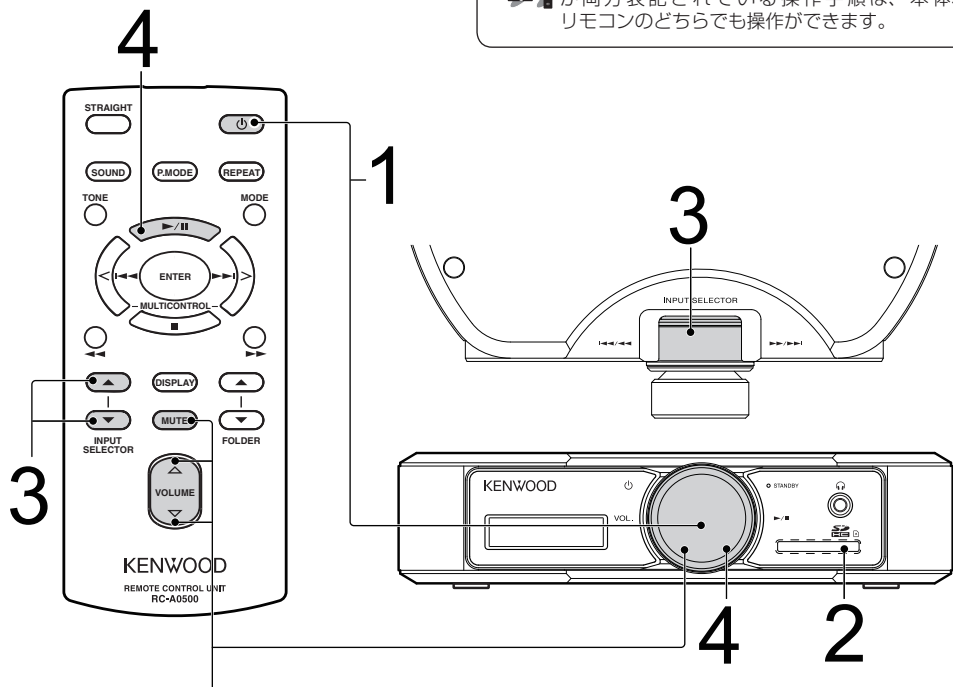
本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの**電源[⏻]**を押すと、電源がONになります。

電源をONしたら、操作したいボタンを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

# 基本的な使いかた

本体による操作です。この表記がある場合は本体を操作します。

リモコンによる操作です。この表記がある場合はリモコンを操作します。

が両方表記されている操作手順は、本体、リモコンのどちらでも操作ができます。

## 音量を調節する

[VOLUME]で調節する。

音量を上げる

音量を下げる

0 ～ MAX（最大）の間で調節できます。

・つまみを速く回す（本体）、またはボタンを押し続ける（リモコン）と音量が早く切り替わります。

## 一時的に消音（ミュート）する

[MUTE] を押す。

が表示されます。

### ■ミュート解除するには...

もう一度［MUTE］を押す。（もとの音量に戻ります）または音量の調節をする。

## 1 電源をONにする

[VOLUME]を押す。

電源［⏻］を押す。

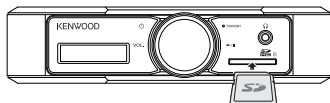
**電源をOFFするには...**

[VOLUME]を1秒以上押す。

電源［⏻］を押す。

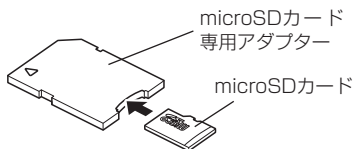
## 2 音源メディアを入れる

### SDカードを入れる場合

SDカードをSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

SD カードのラベル面を上にして、カットされた部分が右になるように入れます。

■ **SDカードを取り出すには...**

停止後、本機をスタンバイ状態にしてから指を添えたままSDカードを押してポップアップしたら引き抜きます。

■ **mini SD、micro SDカードを使うには...**

- 市販の専用アダプターに取り付けてから使用します。挿入方向はSDカードと同じです。

### USB機器を挿し込む場合

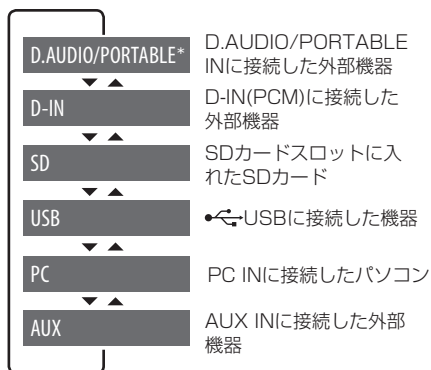
挿し込む方向に注意して挿し込んでください。（12ページ）

■ **USB機器を取り外すには...**

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSB機器を引き抜きます。

## 3 音源を切り替える

[JOG]を回す。

[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

■ **音源の切り替えについて（本体）**

イルミネーションが白色のとき、[JOG]を回して音源(ソース)を選択します。

## 4 再生する

[VOLUME]を押す。

［►/❚❚］を押す。

- * 接続する機器に応じて設定を変更することができます。D.AUDIOコントロールを"OFF"に設定するとインプットセレクタ表示が"PORTABLE"にかわります。(34ページ)

# SDを再生する

SDカードの曲（オーディオファイル）を再生します。

## 曲を聞く

1 SDカードを挿入する

SDカードスロットにSDカードをセットします。（19ページ）

2 音源を"SD"に切り替える

**[JOG]を回す。**

**[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。**

| SD | SDカードスロットに入れたSDカード |
|---|---|

3 再生する

**[VOLUME]を押す。**

**[►/❚❚] を押す。**

最初の曲（オーディオファイル）から再生します。フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

・複数のフォルダやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、「フォルダやオーディオファイルの再生順について」（37ページ）をご覧ください。

・再生可能な曲（オーディオファイル）が無いときは、再生は開始されません。

## フォルダごとに再生する

SD内のフォルダごとに再生するモードに設定します。

音源をSDに切り替え、停止しておきます。

1 （フォルダ再生モード）を選ぶ

**[P.MODE] を押す**

押すたびに次のように切り替わります。

| 点灯 | フォルダ再生モード |
|---|---|
| 消灯 | 通常の再生モード |

2 再生したいフォルダを選ぶ

**[FOLDER ▲/▼] を押す。**

最初の曲（オーディオファイル）から再生します。フォルダ再生モードでは選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

**■ フォルダ再生モードを解除するには...**

**再生停止後、[P.MODE] を押す。**

## 再生中/停止中のボタン操作一覧

| 動 作 | 操 作 |
| --- | --- |
| ディスプレイの表示切り替え | **再生中または停止中に［DISPLAY］を押す。**<br>・押すたびに表示情報が切り替わります。<br>・表示するタグ情報が無いと"....."と表示されます。<br>・再生時間が99分59秒を超えると"--：--"と表示されます。<br>File Name（ファイル名）▶ Folder Name（フォルダ名）▶ Title（曲名）▶ Artist（アーティスト名）▶ Album（アルバム名）▶ T 1 01:15（ファイル No. 再生時間） |
| 停止 | **再生中に［■］を押す。** |
| 一時停止 | **再生中に[VOLUME]を押す。**<br>再度押すと解除します。 |
| | **再生中に［►/❚❚］を押す。**<br>再度押すと解除します。 |
| フォルダの選択 | **[FOLDER ▲/▼］を押す。** |
| 早送り/早戻り | **再生中に[JOG]を左または右に回し続ける。** |
| | **再生中に［◄◄］/［►►］を長押しする。** |
| 曲のスキップ | **再生中に[JOG]を右に回す。** |
| | **[►►I］を押す。** |
| 前の曲へ戻る | **再生中に[JOG]を2回、左に回す。** |
| | **[I◄◄］を連続して2回押す。** |
| 曲の頭出し | **再生中に[JOG]を左に回す。** |
| | **[I◄◄］を1回押す。** |
| リピート再生<br>（繰り返し聞く） | **[REPEAT]を押す**<br>押すたびに切り替わります。<br>点灯：1曲だけリピート再生します。▶ 点灯：全曲/フォルダリピート再生します。▶ 消灯：リピート再生を解除します。 |

音楽を聞く

# USBを再生する

USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーをUSB接続して、曲（オーディオファイル）を再生します。

## 曲を聞く

### 1 USB機器を接続する

本体のUSB端子にUSBフラッシュメモリ、またはUSBオーディオプレーヤーのUSBケーブルを接続します。（12ページ）接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

### 2 音源を"USB"に切り替える

[JOG]を回す。

[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

USB ⟶ USBに接続した機器

### 3 再生する

[VOLUME]を押す。

[►/II] を押す。

最初の曲（オーディオファイル）から再生します。フォルダやオーディオファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

- 複数のフォルダやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、「フォルダやオーディオファイルの再生順について」（37ページ）をご覧ください。

---

- 再生可能な曲（オーディオファイル）が無いときは、再生は開始されません。
- 定格以上の電流を消費するUSB機器を接続すると"USB ERROR"が表示され、本機では使用できません。本機の電源をOFFにしてから、そのUSB機器を抜いてください。

## フォルダごとに再生する

USB内のフォルダごとに再生するモードに設定します。

音源をUSBに切り替え、停止しておきます。

### 1 （フォルダ再生モード）を選ぶ

[P.MODE] を押す。

押すたびに次のように切り替わります。

### 2 再生したいフォルダを選ぶ

[FOLDER ▲/▼] を押す。

最初の曲（オーディオファイル）から再生します。フォルダ再生モードでは選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

■ フォルダ再生モードを解除するには...

再生停止後、[P.MODE] を押す。

## 再生中/停止中のボタン操作一覧

| 動 作 | 操 作 |
| --- | --- |
| ディスプレイの表示切り替え | **再生中または停止中に［DISPLAY］を押す。**<br>・押すたびに表示情報が切り替わります。<br>・表示するタグ情報が無いと"....."と表示されます。<br>・再生時間が99分59秒を超えると"-- : --"と表示されます。<br>File Name ▶ Folder Name ▶ Title ▶ Artist ▶ Album ▶ T 1 01:15<br>ファイル名 / フォルダ名 / 曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ファイル No. 再生時間 |
| 停止 | **再生中に［■］を押す。** |
| 一時停止 | **再生中に[VOLUME]を押す。**<br>再度押すと解除します。 |
| | **再生中に［►/❚❚］を押す。**<br>再度押すと解除します。 |
| フォルダの選択 | **[FOLDER ▲/▼］を押す。** |
| 早送り/早戻り | **再生中に[JOG]を左または右に回し続ける。** |
| | **再生中に［◄◄］/［►►］を長押しする。** |
| 曲のスキップ | **再生中に[JOG]を右に回す。** |
| | **[►►I］を押す。** |
| 前の曲へ戻る | **再生中に[JOG]を2回、左に回す。** |
| | **[I◄◄］を連続して2回押す。** |
| 曲の頭出し | **再生中に[JOG]を左に回す。** |
| | **[I◄◄］を1回押す。** |
| リピート再生（繰り返し聞く） | **[REPEAT]を押す**<br>押すたびに切り替わります。<br>点灯：1曲だけリピート再生します。 ▶ 点灯：全曲/フォルダリピート再生します。 ▶ 消灯：リピート再生を解除します。 |

音楽を聞く

# デジタルオーディオプレーヤーを再生する

本機に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーやiPodを再生します。

## 曲を聞く

### 1 機器を接続する

D.AUDIO/PORTABLE IN入力端子に別売品を使ってケンウッド製のデジタルオーディオプレーヤーやiPodを接続します。（12ページ）

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### 2 音源を"D.AUDIO"に切り替える

[JOG]を回す。

[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

| D.AUDIO | D.AUDIO/PORTABLE INに接続した機器 |
|---|---|

### 3 接続した機器の電源を入れ、一時停止（ポーズ）にする

### 4 再生する

[VOLUME]を押す。

[►/II] を押す。

・本機へ接続している間は、機器側の音量、*音質設定が無効になります(*PAD-iP7で接続したiPodは除く)。同じ音量でも接続したD.AUDIO/iPodの音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は入力レベルを調整します。入力レベルの調整は、30ページをご覧ください。

## 再生中/停止中のボタン操作一覧

| 動作 | 操作 |
|---|---|
| 停止 | 再生中に［■］を押す。 |
| 一時停止 | 再生中に[VOLUME]を押す。<br>再度押すと解除します。 |
| | 再生中に［►/II］を押す。<br>再度押すと解除します。 |
| フォルダの選択 | [FOLDER ▲/▼］を押す。 |
| 早送り/早戻り | 再生中に[JOG]を左または右に回し続ける。 |
| | 再生中に［I◄◄］/［►►I］を長押しする。 |
| 曲のスキップ | 再生中に[JOG]を右に回す。 |
| | ［►►I］を押す。 |
| 前の曲へ戻る | 再生中に[JOG]を2回、左に回す。 |
| | ［I◄◄］を連続して2回押す。 |
| オーディオファイルの頭出し | 再生中に[JOG]を左に回す。 |
| | ［I◄◄］を1回押す。 |

■ 接続専用ケーブル機器について

・別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）やPAD-iP7（iPod専用アダプター）で接続すると、本機やリモコンで機器を操作できます。

・詳しい接続や設置のしかたについては、PNC-150またはPAD-iP7に付属の取扱説明書をご覧ください。

# 外部機器を再生する

## AUX IN/D-IN(PCM)に接続して再生する

本機に外部機器をAUX IN/D-IN(PCM)に接続して再生します。

### 1 外部機器を接続する

- AUX IN/D-IN(PCM)入力端子に、外部機器を接続します。（13ページ）
- 接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機と機器の電源は必ずOFFにして接続してください。

### 2 音源を"D-IN"または"AUX"に切り替える

[JOG]を回す。

[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

D-IN(PCM)に接続した外部機器

▼ ▲

AUX

AUX INに接続した外部機器

D-IN　44.1kHz ― サンプリング周波数

- D-IN(PCM)を選んだときは、入力信号のサンプリング周波数が表示されます。本機で再生できるデジタル信号は、PCM(32kHz/44.1kHz/48 kHz）です。

### 3 接続した外部機器の電源を入れ、再生を開始する

✓ ・セレクタがAUXのとき、同じボリュームでも外部機器の音量がその他の音源より大きく、または小さく感じたときには入力レベルを調整します。入力レベルの調整は、30ページをご覧ください。

## ポータブル機器を再生する

本機のD.AUDIO/PORTABLE INの設定をポータブルに設定するとポータブル機器を接続して再生できます。

### 1 ポータブルプレーヤを接続する

- D.AUDIO/PORTABLE IN入力端子に、ポータブル機器を接続します。（12ページ）
- 接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 本機と機器の電源を必ずOFFにして接続してください。

### 2 設定を切り替える

D.AUDIOコントロール設定を"PORTABLE"にします。（34ページ）

### 3 音源を"PORTABLE"に切り替える

[JOG]を回す。

[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

PORTABLE

D.AUDIO/PORTABLE INに接続したポータブル機器

### 4 接続した外部機器の電源を入れ、再生を開始する

✓ ・同じボリュームでもポータブル機器の音量がその他の音源より大きく、または小さく感じたときには入力レベルを調整します。入力レベルの調整は、30ページをご覧ください。

# パソコン(PC)を再生する

## パソコンを接続してコンテンツを聞く

パソコンを本機にUSBケーブル（市販品）で接続し、パソコン内のソフトウェアを操作して曲やラジオ放送などのコンテンツを聞くことができます。

本機とパソコンを接続するUSBケーブル（Type A - Mini B）を準備します。

### 1 本体裏面の[PC IN]入力端子とパソコンのUSBポートを、USBケーブルで接続する

本機とパソコンを接続する場合は電源をオフにしておきます。

### 2 パソコンの電源をオンにする

### 3 本体の電源をオンにする

- パソコンへドライバが自動的にインストールされ、本機は「USBスピーカー」として認識されます。
- パソコンが本機を接続検出中の状態では、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- 数秒間経過しても本機が検出されない場合は、次のことを行ってください。
  - USBケーブルを接続しなおす
  - パソコンを再起動する

### 4 音源を"PC"に切り替える

 [JOG]を回す。

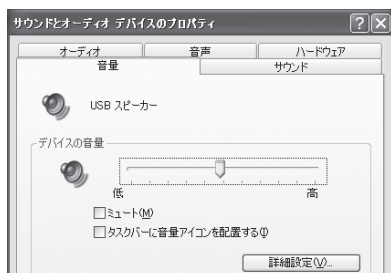
 [INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

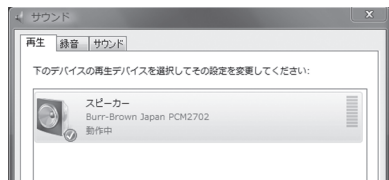
### 5 パソコンのソフトウェアを操作して音楽ファイルを聞く

- 音楽ファイルはパソコンで選びます。パソコンの操作については、パソコンまたはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- 本機で音量調節ができます。
- パソコンと接続中は、PC が表示されます。
- 本機は32kHz/44.1kHz/48kHzのサンプリング周波数に対応しています。また、16ビットステレオ/モノラルデータを受信できます。
- 本機のPC IN入力端子は入力専用です。本機で再生される音をパソコンに録音することはできません。
- 音が出ないときや音量が非常に小さいときは、次の手順でWindowsの設定を確認してください。

## Windows XPの場合

スタートメニューから、[コントロールパネル]を選び、[サウンドとオーディオデバイス]をダブルクリックします。

- [オーディオ]タブをクリックし「USBスピーカー」を選びます。
- 下の[音量]をクリックして、音量を調節してください。「ミュート」のチェックボックスにチェックがある場合は、解除します。

## Windows Vistaの場合

スタートメニューから、[コントロールパネル]を選び、[サウンド]をダブルクリックします。

- [再生]から「スピーカー」を選びます。
- [レベル]をクリックして、音量を調節してください。

音楽を聞く

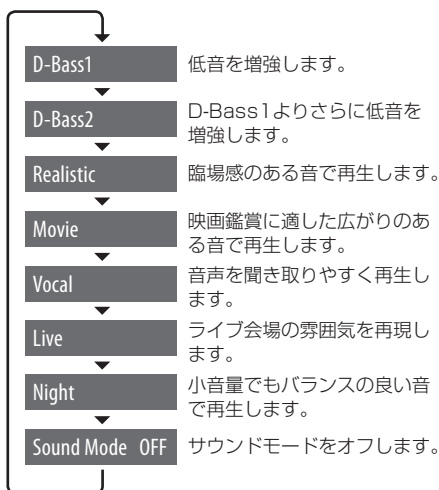
# 音質を調整する

## サウンドモードを変更する "SOUND"

サウンドモードを設定します。

### 1 サウンドモードにする

[SOUND]を押すたびにサウンドモードが切り替わります。

**[SOUND]を押す。**

### 2 サウンドモードを設定する

**[ENTER]を押す。**

選択したサウンドモードを設定します。

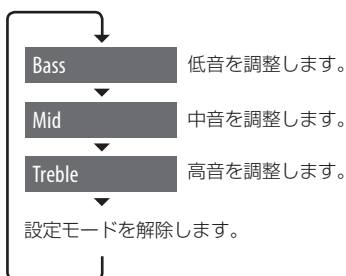
サウンドモードが設定されると Sound が表示されます。

## イコライザーを設定する "TONE"

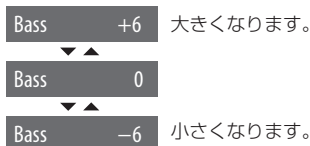
お好みに合わせて音質を調整します。

### 1 トーンモードにする

[TONE]を押すたびにトーンモードが切り替わります。変更したい音域を表示させせます。

**[TONE]を押す。**

トーンモードが設定されると Tone が表示されます。

### 2 レベルを設定する

**[MULTI CONTROL</>]で調整する。**

他の音域を調整する場合は、手順1～2をくり返します。

## ストレートを設定する "STRAIGHT"

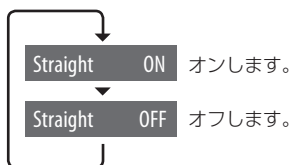
音質の調整を行わずに再生します。

# 1 ストレートモードにする

[STRAIGHT]を押すたびにモードが切り替わります。

 [STRAIGHT]を押す。

オンします。

オフします。

ストレートモードが設定されると Straight が表示されます。

・STRAIGHTを"ON"に設定するとサウンドモードとイコライザーが解除されます。"OFF"にするとサウンドモードとイコライザーが元の状態に戻ります。

好みの音を作る

# 本機の設定を変更する

## 入力レベルを調整する "Input Level"

音源がD.AUDIO、AUX、PORTABLEのときの入力レベルを調整します。同じボリュームでも外部機器の音量がその他の音源より大きく音が歪んだり、または小さく感じたときに調整します。

### 1 変更したい音源を選択し再生する

[INPUT SELECTOR]を回す。

[INPUT SELECTOR▲/▼]を押す。

### 2 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 3 "Input Level"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 4 レベルを調整する

[MULTI CONTROL< / >]で調整し[ENTER]を押す。

Input Level +3 音が大きくなります。

▼▲

Input Level 0

▼▲

Input Level –3 音が小さくなります。

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

## 左右のバランスを調整する "Balance"

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

ヘッドホンは外しておきます。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Balance"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 バランスを調整する

[MULTI CONTROL< / >]で調整し[ENTER]を押す。

左右のバランスを表します。

L ll ll ll T ll ll ll R

▼▲

L ll ll ll T ll ll ll R

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

■ 途中で設定を止めるには...

[MODE]を押す。

## ディスプレイの表示濃度を調整する "Contrast"

ディスプレイ表示部の表示濃度を調整します。

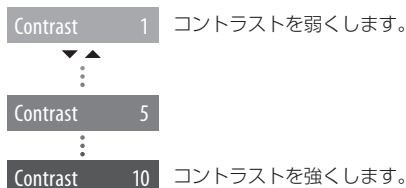
### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Contrast"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 表示濃度を調整する

[MULTI CONTROL< / >]で調整し[ENTER]を押す。

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

## ディスプレイの明るさを調整する "Backlight"

ディスプレイ表示部のバックライトの輝度を調整します。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Backlight"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 明るさを調整する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

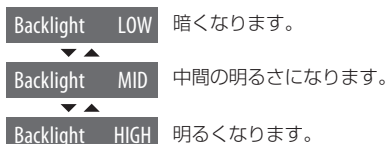
Backlight LOW　暗くなります。

Backlight MID　中間の明るさになります。

Backlight HIGH　明るくなります。

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

■ 途中で設定を止めるには...

[MODE]を押す。

## イルミネーションの設定をする "Illumination"

表示イルミネーションの点灯または消灯を選択します。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Illumination"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 点灯または消灯を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

| 表示 | 説明 |
| --- | --- |
| Illumination ON | 点灯させます。 |
| Illumination OFF | 消灯させます。 |

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

## スピーカーを選択する "Speaker Setup"

接続するスピーカーに合わせて最適な音質になるよう設定します。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Speaker Setup"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 接続するスピーカに合わせて選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

| 表示 | 説明 |
| --- | --- |
| Standard | 一般的なスピーカー |
| Speaker1 | CORE-A55の付属スピーカー |
| Speaker2 | 小型ブックシェルフスピーカー |

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

■ 途中で設定を止めるには...

[MODE]を押す。

## ヘッドホンを選択する "Headphone Setup"

接続するヘッドホンに合わせて最適な音質になるよう設定します。

### 1 セットアップモードにする

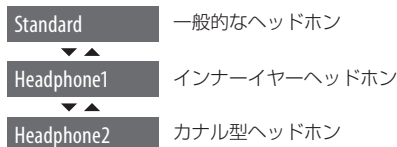
[MODE]を押す。

### 2 "Headphone Setup"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 接続するヘッドホンに合わせて選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

| 表示 | |
|---|---|
| Standard | 一般的なヘッドホン |
| ▼▲ | |
| Headphone1 | インナーイヤーヘッドホン |
| ▼▲ | |
| Headphone2 | カナル型ヘッドホン |

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

## 音の歪みを減らす "Compression"

オーディオファイルを再生したときに、音が歪んだり割れたりしたときは設定をオンします。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Compression"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

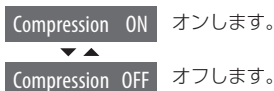
### 3 接続する機器に合わせてクリップレベルを調整する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

| 表示 | |
|---|---|
| Compression ON | オンします。 |
| ▼▲ | |
| Compression OFF | オフします。 |

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

**■ 途中で設定を止めるには...**

[MODE]を押す。

## USB端子への電源供給を設定する "Power Supply"

セレクタでUSBを選んでいないときでもUSBに接続したデジタルオーディオプレーヤーを充電するための電源供給の設定をします。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "Power Supply"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 電源供給を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

| 表示 | 説明 |
| --- | --- |
| Supply ON | 電源を供給します。 |
| ▼▲ | |
| Supply OFF | 電源を供給しません。 |

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

- インプットセレクタで "USB" が選ばれている場合は、接続されている機器へ自動で電源が供給されます。
- 本機がスタンバイ中は、電源を供給しません。

## D.AUDIOコントロールの設定をする "D.AUDIO Control"

本機をケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーリンク対応の機器と別売のPNC-150を使って、接続したときのコントロールの有無を選択します。OFFに設定するとポータブル機器などを接続できます。

### 1 セットアップモードにする

[MODE]を押す。

### 2 "D.AUDIO Contol"を選択する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

### 3 D.AUDIOコントロールを設定する

[MULTI CONTROL< / >]で選択し[ENTER]を押す。

| 表示 | 説明 |
| --- | --- |
| ON (D.AUDIO) | D.AUDIOコントロールを有効にします。セレクタ表示が"D.AUDIO"になります。 |
| ▼▲ | |
| OFF (PORTABLE) | D.AUDIOコントロールを無効にします。セレクタ表示が"PORTABLE"になります。 |

設定すると自動的にセットアップモードを終了します。

■ 途中で設定を止めるには...

[MODE]を押す。

# 知っておいていただきたいこと

## 本機で使えるメディア

| メディア | | 説　明 |
|---|---|---|
| USB | USB フラッシュメモリ | ・[ USB] 端子には、USB フラッシュメモリや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。使用可能な USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの情報は当社ホームページをご覧ください。http://www2.jvckenwood.com/faq/ |
| | USB マスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー | |
| SD | SD/ SDHCカード | ・1GB ～ 32GB の SD カードが使用できます。使用可能な SD カードの情報は当社ホームページをご覧ください。http://www2.jvckenwood.com/faq/<br>・miniSD/microSD カードは専用アダプターが必要です。<br>・マルチメディアカード（MMC）は使用できません。 |
| | miniSD™ カード | |
| | micro SD/ SDHCカード | |
| PC | USB 端子を搭載した Windows Vista/XP | ・PC　IN 端子には、Windows　Vista/XP 搭載パソコンを USB ケーブル（市販品）で接続します。 |

## 著作権について

・放送や CD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
・従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
・使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

# 再生できるオーディオファイル

## MP3ファイル

**ファイルフォーマット：**MPEG 1 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3 Lower sampling rate (MPEG2.5)

**拡張子：**.mp3

**サンプリング周波数：**

MPEG 1 Audio Layer 3：32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz

MPEG 2 Audio Layer 3：16 kHz/ 22.05 kHz/ 24 kHz

MPEG 2.5：8 kHz/ 11.025 kHz/ 12 kHz

**ビットレート：**

MPEG 1 Audio Layer 3：32 kbps ～ 320 kbps

MPEG 2 Audio Layer 3：8 kbps ～ 160 kbps

MPEG 2.5：8 kbps ～ 160 kbps

## WMAファイル

**ファイルフォーマット：**

Windows Media™ Audio準拠

**拡張子：**.wma

**サンプリング周波数：**32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz

**ビットレート：**48 kbps ～ 192 kbps

- Windows Media ™ Player 9 以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

## AACファイル

**ファイルフォーマット：**MPEG-4 AAC（iTunes™ 4.1～7.7で作成されたもの）

**拡張子：**.m4a

**サンプリング周波数：**16 kHz/ 22.05 kHz/ 24 kHz/ 32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz

**ビットレート：**32 kbps ～ 320 kbps

- Apple ™ ロスレス・エンコーダで作成されたファイルは、再生できません。

本機は以下のオーディオファイルが記録されたSD、USB機器を再生できます。

## SD/USB対応ファイルシステム

**FAT16**
**FAT32**

## ファイル数制限

**最大ファイル/フォルダ数：**合計1000

**最大フォルダ数：**200

**1フォルダ内のファイル数：**255

## 表示できる最大文字数

**ファイル名：**64文字/全角32文字（拡張子含む）

**フォルダ名：**64文字/全角32文字

**タグ表示（Title/Album/Artist）**

ID3 v1.0/ 1.1：30文字

ID3 v2.2/ 2.3/ 2.4：128文字

- 本機が表示できる文字種は、漢字、ひらがな、カタカナと英数字です。表示できない文字は“*”が表示されます。

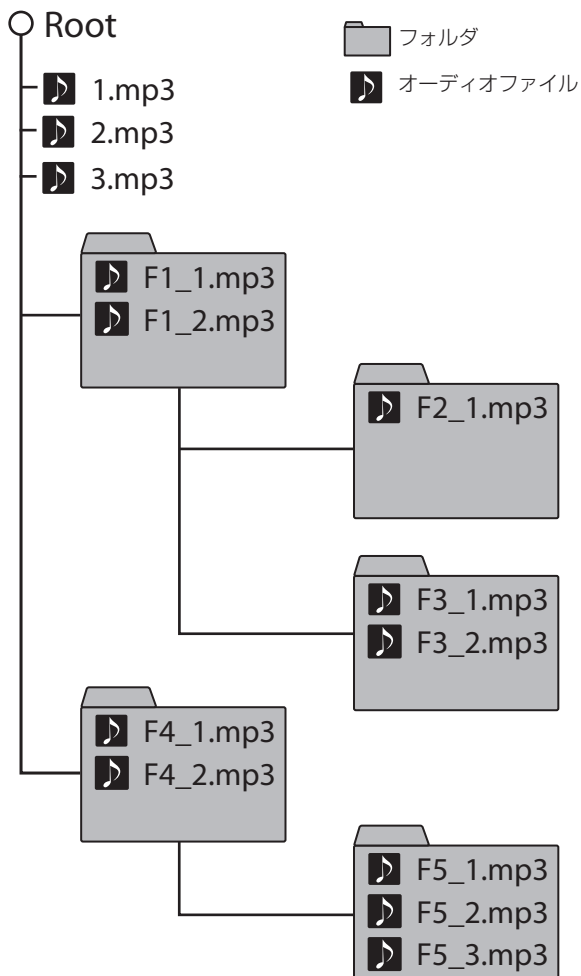
## その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate;可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

## 拡張子について

- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3，wma，m4a）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma, m4a）を付けないでください。拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。

## フォルダやオーディオファイルの再生順について

SDカード・USBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤー内のオーディオファイルは、まず、Rootにあるものから再生されます。次の図は、本機がフォルダやオーディオファイルを選択する順番を表したものです。

■再生順

| | |
|---|---|
| 1曲目 | 1.mp3 |
| 2曲目 | 2.mp3 |
| 3曲目 | 3.mp3 |
| 4曲目 | F1_1.mp3 |
| 5曲目 | F1_2.mp3 |
| 6曲目 | F2_1.mp3 |
| 7曲目 | F3_1.mp3 |
| 8曲目 | F3_2.mp3 |
| 9曲目 | F4_1.mp3 |
| 10曲目 | F4_2.mp3 |
| 11曲目 | F5_1.mp3 |
| 12曲目 | F5_2.mp3 |
| 13曲目 | F5_3.mp3 |

## USB機器の取り扱い

### 取り扱い上のお願い

- 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に USB 機器は付属していません。
- 本体背面部の **[ USB]** 端子は USB2.0（Full speed）対応です。
- USB ハブを介して USB 機器を使用することはできません。
- USB 機器の使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

### 使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USB マスストレージクラス対応であること。使用する USB 機器が USB マスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

## 使用できるD.AUDIOについて

本機またはリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをコントロールするには、別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）が必要です。

| 接続可能ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー | |
|---|---|
| HDD オーディオ<br>プレーヤー | メモリーオーディオ<br>プレーヤー / レコーダー |
| HD60GD9/<br>HD20GA7/<br>HD30GA9/<br>HD30GB9/<br>HD10GB7 | MGR-A7/MG-E502/<br>MG-E504/M2GD55/<br>M2GD50/M1GD55/<br>M1GD50/M1GB5/<br>M512B5/M1GC7/<br>M2GC7/M512C5 |

2008年8月現在

## SDカードの取り扱い

### 取り扱い上のお願い

- 必ず SD カードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に SD カードは付属していません。
- SD カードの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

## iPodの取り扱い

### 取り扱い上のお願い

- 必ず iPod に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に iPod は付属していません。
- iPod の使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

### 使用できるiPodについて

- 本機またはリモコンで iPod をコントロールするには、専用の iPod Dock PAD-iP7（別売）が必要です。接続できる iPod については PAD-iP7 の取扱説明書をご覧ください。

# 機器の保管とお手入れ

## 本機

### 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

### 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

### 汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

## SDカード

### 保管するときは

- 必ずケースに収納して保管してください。
- 極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

### 汚れたら

- やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

### その他お守りいただきたいこと

- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルをはがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

## USB機器

必ず各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

# 輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

1. 電源をOFFにしてUSBオーディオプレーヤーなどの外部機器、SDカード取り外します。
2. その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

# メモリバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は、保持されます。保持される内容は以下の設定です。

### 音質・機器設定関係

- 入力切り換え
- 音量の設定
- バランスの設定
- インプットレベルの設定
- 音質設定
- MODE で設定した各項目

# 用語集

| 用　語 | 意　味 |
| --- | --- |
| AAC | 正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。 |
| MP3 | 独 Fraunhofer IIS が開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽 CD 並みの音質を保ったまま約 1/11（128kbps）に圧縮することができます。 |
| USB | パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB 1.1、2.0 に対応しています。 |
| USB マスストレージクラス | USB 機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続した USB 機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。 |
| VBR（可変ビットレート） | 音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。 |
| WMA | 米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media ™ Audio」の略称です。 |
| サンプリング周波数 | アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。音楽 CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。 |
| タグ情報 | タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。 |
| ビットレート | 1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。 |

# メッセージ表示一覧

| ディスプレイ表示 | 意　味 |
| --- | --- |
| Reading | SD/USB に接続されたオーディオファイル（曲）情報を読み込んでいる。 |
| D-IN　－－－ | 入力信号のサンプリング周波数が 32k/44.1k/48kHz 以外です。 |
| D-IN　Unlock | D-IN 端子にデジタル機器がつながれていません。 |
| D-IN　NonPCM | D-IN 端子に PCM 以外の信号が入力されている。 |
| No File | 本機で再生できるオーディオファイル（曲）が無い。 |

# 故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

## アンプ部・スピーカー部

| 症　状 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 音が出ない。 | ・コードを正しく接続し直す。<br>・音量を上げる。<br>・ミュート（消音）を OFF にする。<br>・ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。 | 10<br>18<br>18<br>13 |
| スタンバイインジケーターの表示が赤く点滅し、音が出ない。 | ・スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。<br>・内部的な不具合が発生したと考えられる。本体の電源をオフにし、電源プラグを抜いて修理を依頼する。 | 10<br>— |
| ヘッドホンから音が出ない。 | ・ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。<br>・音量を上げる。<br>・ミュートをオフにする。 | 13<br>18<br>18 |
| スピーカーの片側から音が出ない。 | ・コードを正しく接続し直す。 | 10 |

## SD部

| 症　状 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|
| SD カードを入れても音が出ない。 | ・SD カードを正しく入れる。<br>・オーディオファイルが入っている SD カードを入れる。 | 19 |
| SD カード内のすべてのフォルダ、オーディオファイルが見えない。 | ・SD カードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性がある。 | — |

## USB部

| 症　状 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|
| USB フラッシュメモリまたは USB オーディオプレーヤーを接続しても音が出ない。 | ・USB フラッシュメモリを正しく差し込む。<br>・USB ケーブルを正しく接続する。<br>・USB オーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。 | 12 |

## D.AUDIO端子に接続した機器

| 症　状 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン / 本体で操作できない。 | ・専用接続ケーブル PNC-150（別売）で接続する。<br>・対応モデルかどうか確認する。 | 12<br>38 |

## PC部

| 症　状 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 本機が認識されない。 | ・USB ケーブルで本機とパソコンを正しく接続する。<br>・USB ハブを使って接続している場合は、ハブが正しく動作しているか確認する。または接続するポートを変える。 | 13 |
| 音が出ない、または音が小さい。 | ・PC の設定をする。 | 26 |
| 音が途切れる。 | ・音声出力中、CPU に負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。<br>・音声出力中にほかの USB ケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、ほかの機器の USB ケーブルを抜き差ししないでください。 | — |
| 雑音が多い。 | ・強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに本機が置かれていると、雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。 | 9 |

## リモコン部

| 症　状 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|
| リモコンで操作できない。 | ・新しい電池に入れ換える。<br>・操作範囲内で操作する。 | 17 |

## 本機をリセットするには

| 症　状 | ここをご確認ください・処置 |
| --- | --- |
| 本機が誤動作する。<br>（操作できない、表示部の誤表示など） | 電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤動作することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。<br><br>❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。<br>❷ 本体の [VOLUME]/ **電源 [⏻]** を押しながら、電源プラグを差し込み直します。（"INITIALIZE" と表示され本機がリセットされます。）<br><br>INITIALIZE<br><br>• リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。 |

メンテナンス

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

## 保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社のサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

## 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

**技術料：**

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

**部品代：**

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

**出張料：**

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

**送　料：**

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

# ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターへお申しつけください。

2012年9月現在

| 北海道 | | | |
|---|---|---|---|
| 札幌サービスセンター | 〒 004-0005 | 札幌市厚別区厚別東5条1-2-29 | ☎ (011) 807-3003 |
| **東北** | | | |
| 仙台サービスセンター | 〒 984-0011 | 仙台市若林区六丁の目西町7-13 | ☎ (022) 287-0151 |
| **関東・信越** | | | |
| さいたまサービスセンター | 〒 331-0812 | さいたま市北区宮原町1-202 | ☎ (048) 778-8714 |
| 千葉サービスセンター | 〒 277-0863 | 柏市豊四季512-10-67 | ☎ (04) 7175-4322 |
| 横浜サービスセンター | 〒 226-8525 | 横浜市緑区白山1-16-2 | ☎ (045) 939-6242 |
| 八王子サービスセンター | 〒 192-8525 | 八王子市石川町2967-3 | ☎ (042) 646-6914 |
| 新潟サービスセンター | 〒 950-0913 | 新潟市中央区鐙1-5-23 | ☎ (025) 245-2177 |
| 東京サービスセンター | 〒 135-0023 | 江東区平野3-2-6　木場パークビル1F | |
| (修理持込専用窓口) | 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。 | | |
| **中部・甲州** | | | |
| 名古屋サービスセンター | 〒 481-0041 | 北名古屋市九之坪鴨田121-1 | ☎ (0568) 24-1644 |
| 静岡サービスセンター | 〒 420-0816 | 静岡市葵区沓谷5-61-1 | ☎ (054) 262-8700 |
| 金沢サービスセンター | 〒 921-8062 | 金沢市新保本4-65-17 | ☎ (076) 269-4821 |
| **近畿・四国** | | | |
| 大阪サービスセンター | 〒 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 | ☎ (06) 6390-8005 |
| 高松サービスセンター | 〒 761-8057 | 高松市田村町205-1 | ☎ (087) 802-6055 |
| **中国** | | | |
| 広島サービスセンター | 〒 730-0825 | 広島市中区光南3-9-17 | ☎ (082) 241-0023 |
| **九州** | | | |
| 福岡サービスセンター | 〒 812-0031 | 福岡市博多区沖浜町11-10　サンイースト福岡3F | ☎ (092) 283-6675 |
| 鹿児島サービスセンター | 〒 891-0114 | 鹿児島市小松原1-5-17 | ☎ (099) 268-0030 |
| 沖縄サービスセンター | 〒 901-2224 | 宜野湾市真志喜1-11-12　コモンズビル1F | ☎ (098) 898-3631 |

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

**JVCケンウッドカスタマーサポートセンター**

■ 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950　　FAX 045-450-2308
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

# 定格

## 本体部（KAF-A55）

**[アンプ部]**

実用最大出力………… 10 W + 10 W（JEITA 4 Ω）
全高調波歪率………… 0.07 % (1kHz、1W、4 Ω)
S/N比（D-IN入力）…………………… 94 dB (JEITA)
トーンコントロール特性
　BASS …………………………… ±6 dB（100Hz）
　MID ………………………………… ±6 dB（2 kHz）
　TREBLE………………………… ±6 dB（10kHz）
入力端子（感度／インピーダンス）
　AUX …………………………… 400 mV / 22 kΩ
　D.AUDIO ……………………… 200 mV / 22 kΩ

**[デジタル部]**

対応サンプリング周波数…… 32k/44.1k/48 k Hz
入力端子…………………………………… オプティカル

**[USB部]**

対応USB機器
　……………… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス
　…………… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
供給電流…………………………………… 最大500 mA

**[電源部・その他]**

付属ACアダプター
　………… DC 12 V (AC 100 V、50 Hz/60 Hz)
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）… 12 W
待機時消費電力………………………………0.3 W以下
最大外形寸法
　横置き設置 ……………………………… 幅 170 mm
　（クッション含む）高さ 42 mm
　奥行 144 mm
　縦置き設置（スタンド含む） ………… 幅 82 mm
　高さ 179 mm
　奥行 154 mm
質量（重量）………………………………………740 g
質量（重量:スタンド含む:） ……………………790 g

## スピーカー部（LSF-A55）

システム
　………… フルレンジスピーカー <防磁型(JEITA)>
エンクロージャー
　…………… バスレフ（パッシブラジエーター）方式
スピーカー構成
　フルレンジ ………………………… 60 mm コーン型
インピーダンス…………………………………… 4 Ω
最大入力……………………………………………… 20 W
最大外形寸法（スタンド含む） ………… 幅 103 mm
　高さ 180 mm
　奥行 121 mm
質量（スタンド含む）………………重量 1.3 kg(1本)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

AppleおよびiPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。

iTunesは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。

SDHC ロゴは商標です。

Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

## お電話による使いかた・商品に関するご相談

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
土曜日　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
※ 日曜、祝日及び当社休日を除く

フリーダイヤル **0120-2727-87**

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8950**
- FAX　**045-450-2308**

## ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
**http://www2.jvckenwood.com/faq/**

## 修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

## ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
**http://jp.my-kenwood.com**

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12